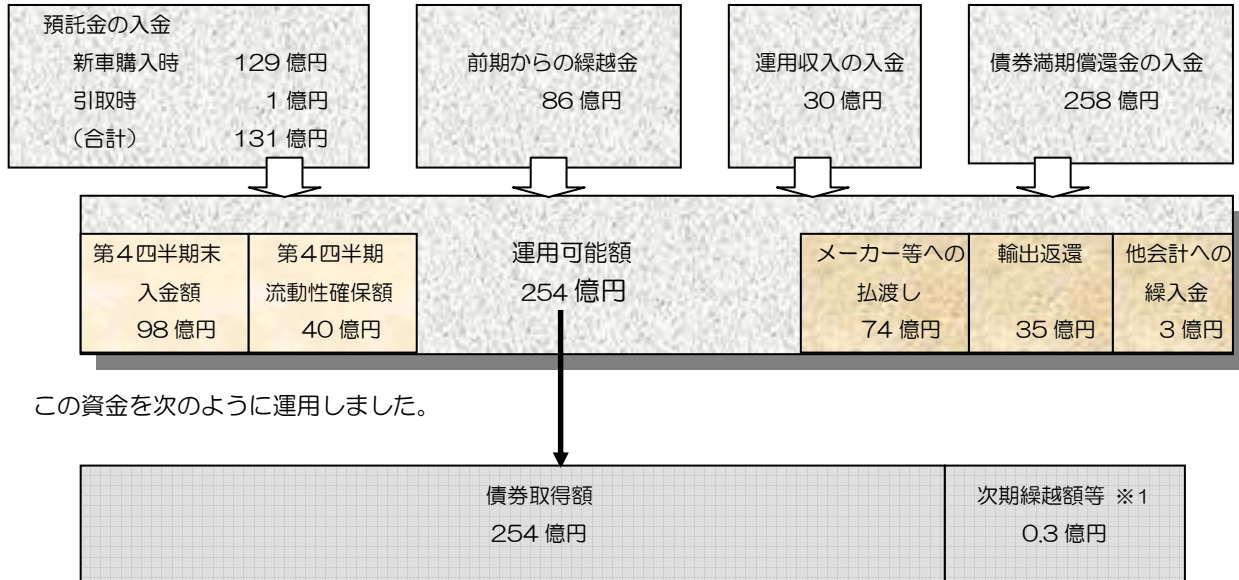


平成24年度第4四半期（平成25年1月～平成25年3月）  
再資源化預託金等の運用の実績

⇒詳細は「資金管理業務諮問委員会の報告 第52回（平成25年6月7日開催）資料5-1」をご参照ください。

■平成24年度第4四半期（平成25年1月から平成25年3月末まで）に資金管理法人の口座に入金となった預託金額は131億円でした。これに前期からの繰越金86億円（前期末入金46億円、流動性確保額等40億円）、運用収入30億円及び債券満期償還金258億円を加え、メーカー等へ払渡した金額74億円、輸出返還の金額35億円、他会計へ繰入した金額（資金管理法並びに情報管理センターへの出えん等）3億円、第4四半期末の入金98億円及び第4四半期流動性確保額40億円を差引いた254億円が運用可能な金額でした。



※1 次期繰越額等 0.3億円。

次期繰越額等とは、債券の運用を次期に繰越した額及び支払経過利息の合計額です。

支払経過利息とは、債券を購入するとき売り手に支払った前回利払日翌日から購入の受渡日までの日数分の利息相当額のことです。

この結果、平成25年3月末の保有債券の残高・平成24年度における新規取得債券（平成24年4月から平成25年3月末まで）の種別構成比は次のようになりました。

償還年度	年限	保有債券簿価残高	構成比
平成25年度	1	846億円	—
平成26年度	2	861億円	11.1%
平成27年度	3	861億円	11.1%
平成28年度	4	861億円	11.1%
平成29年度	5	861億円	11.1%
平成30年度	6	861億円	11.1%
平成31年度	7	861億円	11.1%
平成32年度	8	861億円	11.1%
平成33年度	9	861億円	11.1%
平成34年度	10	861億円	11.1%
合計		8,595億円	100.0%

債券種別	新規取得額	構成比 (A) ※2	年度計画 (B)	(A)-(B)
国債	842億円	84.9%	82.0%	2.9%
政府保証債	62億円	6.2%	6.0%	0.2%
格付け制限あり債券	88億円	8.9%	12.0%	△3.1%
合計	993億円	100.0%	100.0%	

※2 資金管理業務規程「再資源化預託金等の運用の基本方針」において、平成25年1月以降に新規取得する債券を国債及び政府保証債のみと変更したことにより、平成24年度における新規取得債券の種別構成比は、計画と実績で差異が生じました。

■第4四半期に取得した債券の運用の成果は、概ね市場の金利を踏まえたものになっています。

実績最終利回り (A) ※3	評価指標利回り (B)	(A) - (B)
0.43%	0.48%	△0.05

※3 第4四半期に取得した債券の加重平均利回りです。

■保有債券全体の最終利回りの推移は次のようになっています。

平成16年度末	平成17年度末	平成18年度末	平成19年度末	平成20年度末	平成21年度末	平成22年度末
0.77%	0.90%	1.15%	1.24%	1.32%	1.37%	1.37%
平成23年度末	平成24年度末					
1.35%	1.29%					

(注) 合計が一致しないのは四捨五入のためです。